2023／4／20

＜正しいネットの張り方＞　　競技委員長　永田　和昭

１．ポールを立てる

① 必ず、ポールをポール孔へしっかり差し込む。差し込みが甘い場合、浮いた状態になり危険である。重量物の為できるだけチームスタッフ・大人・上級生で行うこと。

② ネットを取り付ける滑車部分の向きを確認する。

③ 高さの調整
巻き上げ式の場合は、ほぼ2m に合わせ設営し、ネットを張った後にやや巻き上げて調整した方が合わせ易い。
差し込み式の場合は、後で高くできないので、やや高めに設営しネットの下ロープ等で、引き下げて高さを合わせる。

④ 巻き上げ機には強い力がかかる為、巻き込まれやハンドルの反発には特に注意を払うこと。

２．ネットを張る

① 上ロープをポールに架け、ロープを張る。中央部でネットを揺すり、３・４回で揺れが止まる程度の強さで張る。ただし、床・ポールが老朽化している場合、注意して張ること。

② ポールとネットの端部までの距離が左右対称となるようにする。基本的には、ポール孔の間隔は、１１ｍなので左右の５０ｃｍずつが残る。ただし、ネットの老朽化・９人制のポール孔しかない体育館の場合は、現場で合わせるしかない。

③ 下ロープを左右均等になるように張る。まず、片側をやや短めに（反対側を張るときに引っ張ることを考慮して）張る。ネットの幅（縦１ｍ）とネットのマス目（１０ｃｍ＊１０ｃｍ）が保てるようにする。

④ 下ロープを張った段階で、ネットの高さのチェックを行う。まず、中央部を２mに合わせる。両サイドライン上のネットの高さは左右対称で、２ｍ（―0、＋２ｃｍ以内）に合わせる

⑤ サイドロープ左右２か所を取り付ける（マス目がくずれないよう引っ張り過ぎないこと）
サイドロープの位置は６人制の場合は上から４マス・３マス・３マスの位置とする。

３．サイドバンド（白帯）、アンテナを取り付ける。

① サイドラインの真上にサイドバンドを取り付ける。
アンテナ等を用い、サイドラインの端の位置を確認し、設置する。アンテナを巻き込むタイプとなっているものもあるので、その際は取り付けの向きに注意する。

② アンテナをコートの端の真上に取り付ける。この際アンテナが傾かないようにサイドライン上の離れた位置から確認すると良い。

③ アンテナの下部の金具が出ている場合があるのでその際にはテープ等により保護する。

④ 試合が多くある場合は、ザイドバンド・アンテナをテープにて固定すると良い。

４．　警告カード・ポールカバーを取り付ける。

① 警告カードを主審側のポール上部へ取り付ける。

② ポールカバーを取り付ける。